

## 浜の活力再生プラン (第二期)

### 1 地域水産業再生委員会

組織名	尾鷲地域水産業再生委員会	浜プラン ID : 1118018
代表者名	会長 長野 規一	

再生委員会の構成員	三重外湾漁業協同組合 尾鷲市
オブザーバー	三重県

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	<p><b>【対象の範囲】</b> 尾鷲市</p> <p><b>【漁業の種類】</b> 大型定置網 (8 経営体)、小型定置網 (23 経営体)、刺網 (80 経営体)、敷網 (1 経営体)、マグロ延縄 (2 経営体)、一本釣り (56 経営体)、採貝藻 (25 経営体)、その他 (8 経営体)、魚類養殖 (21 経営体) ※重複あり</p> <p style="text-align: right;">平成 30 年 12 月現在</p>
-----------------------	---

### 2 地域の現状

#### (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>尾鷲地区の水産業は古くは熊野灘沖合でのカツオ一本釣りで繁栄してきたが、近年はカツオ漁場の形成が少なくなり、尾鷲市内のカツオ船の隻数は少数となり、水揚げは員外船の水揚げに依存している。かつての沖合でのカツオ一本釣り漁業から、定置網、いせえび刺網、及びカツオやイカ等を対象とした一本釣り等の沿岸漁業への移行が見られている。また、湾内ではマダイを中心にした魚類養殖が盛んに行われているが、魚価の低迷、飼料価格の高騰等により、経営が厳しい状況にある。近年の尾鷲地区の漁業を取り巻く状況は厳しいものとなってきている。</p> <p>近年、水揚げの増大を目的に員外マグロ延縄船の誘致に力を入れてきたことに加えて、平成 23 年 6 月、平成 29 年 12 月に地域内において鮮度保持能力の高い近海マグロ延縄船が新たに竣工したことにより、尾鷲港におけるマグロの水揚げ量が 30 トン (平成 23 年度) から 275 トン (平成 30 年度) に増加した。また、定置網業者が水産物の付加価値向上を図るためにブリ、アオリイカ等の活〆等による付加価値の向上にも取り組んでいる。更に早田地区の大型定置網業者が平成 29 年 10 月より「もうかる漁業創設支援事業」を、行野浦地区の大型定置網業者が「浜の担い手漁船リース緊急事業」を活用して代船建造、網の改良等を行い、</p>
---

操業の効率化を図るとともに、収益性の改善を図っている。早田地区の大型定置網漁業者においては、ブリの活〆や活魚出荷、地区の産地市場である早田魚市場から集約市場である尾鷲魚市場への出荷先の変更等により、魚価が約 35% 向上している。

地区の漁協は経営状況が厳さを増し、平成 22 年に市内 9 漁協のうち 5 漁協が、5 市町にまたがる広域の三重外湾漁協への合併に参加し、翌平成 23 年には単独の 4 漁協のうち 3 漁協が合併した。更に平成 30 年 9 月には市内漁協は全て三重外湾漁協に合併した。市内には尾鷲、九鬼、早田、三木浦の 4 地区に産地市場を開設しているが、漁獲量の減少、魚価の下落、仲買人の減少等により、今後、市場の集約化を進める必要がある。

現在の厳しい状況を改善するために、現在取り組んでいる魚価向上、コスト削減の取組を引き続き実施することに加え、魚食普及や地域内での消費拡大、地先資源の有効活用や水揚量の増加にかかる取組を実施していく。これらの取組により尾鷲地区の基幹産業である水産業の活性化を図りながら、魚市場の集約化を検討し、受け入れ体制構築のために、老朽化した市場施設の建替えを視野に入れて、市場の衛生化に係る取組も実施していく必要がある。

## (2) その他の関連する現状等

平成 25 年度より尾鷲市内の一部区間を除き、熊野市まで自動車専用道路が伸展した結果、名古屋市や津市など都会からのアクセスの利便性が飛躍的に向上した。また、観光スポットとして世界遺産登録されている熊野古道を有しており、県内外から多くの観光客が訪れることが期待される地域となっている。

## 3 活性化の取組方針

### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

#### ①各漁業種類における取組

##### 1) 定置網漁業（大型定置網の改革による所得の向上）

早田地区の大型定置網業者が平成29年10月より「もうかる漁業創設支援事業」を、行野浦地区の大型定置網業者が「浜の担い手漁船リース緊急事業」を活用して代船建造、網の改良等を行い、操業の効率化、省人化により、収益性の改善を図った。早田地区の大型定置網漁業者においては、ブリの活〆や活魚出荷、地区の産地市場である早田魚市場から集約市場である尾鷲魚市場への出荷先の変更等により、約35%魚価が向上した（同規模の水揚金額であった改革前の平成27年度と改革後の平成29年度、平成30年度を比較、平成27年度：1.25億円÷591 t =212円/kg、改革後の平成29年度：1.25億円÷415 t =301円/kg、平成30年度：1.24億円÷431 t =288円/kg、平成30年度288円/kg ÷平成27年度212円/kg =1.35）。また、漁具費、修繕費、人件費などのほか、ICT活用（モニタリングシステム）によって出漁前におおまかな魚種判別や入網量が予測できるようになったため、氷の無駄積みや沖での潮待ちが解消され、燃料代や氷代などの経費が削減された。今後も四季の旬魚の活〆等による魚価向上や、経費削減の取組

を継続する必要があり、また、他の定置網漁業者にも、取組の波及を図る必要がある。

## 2) 養殖業（飼料コストの削減、藻類、二枚貝の養殖の取組による収入の安定化）

魚粉の高騰により、飼料価格が高騰し、低魚粉飼料の導入が自然と浸透している。三重県が種苗生産技術の開発に力を入れてきたマハタは、ワクチンの実用化等により、三重県が全国一の生産県であり、古くからマハタの養殖に取り組んできた尾鷲市は、県下最大の生産地となっている。近年では魚価が低下傾向にあるため、認知度向上、販路拡大が重要な課題であるとともに、生産面においては、種苗の品質向上や魚病対策等の技術の向上が課題となっている。

また、三重県、尾鷲市、漁業者が共同でマガキの試験養殖に取り組んだ結果、尾鷲湾内でのマガキ養殖が可能であることが明らかとなった。対象地域で藻類養殖の取り組みは行われなかったが、第二期から新たに対象地域に入る地区の漁業者が新たにヒロメ養殖に取り組んだ。今後も飼料コストの増加等による魚類養殖業経営は厳しくなることが想定されるため、藻類、二枚貝養殖の導入を検討する必要がある。

## 3) マグロ延縄（新たなマグロ延縄船の建造）

平成 23 年 6 月に地域内で、鮮度保持能力の高い近海マグロ延縄船を竣工した漁業者が、更に平成 29 年 9 月に「浜の担い手漁船リース緊急事業」を活用して同規模のマグロ延縄船を新たに竣工し、尾鷲港におけるマグロの水揚げ量が 30 トン（平成 23 年度）から 275 トン（平成 30 年度）に増加している。

## ②流通・販売対策

### （早田魚市場から尾鷲魚市場への出荷体制の構築）

早田魚市場の仲買人の減少により、浜値の低下が懸念されたため、尾鷲魚市場への出荷体制を構築した。前述したとおり、早田地区の大型定置網においては、魚価が約 35% 向上した。

### （活〆等による付加価値向上）

定置網漁業等で漁獲されるブリ、マアジ、ゴマサバ、ヒラソウダ等の脂質含量等の測定などデータの収集及び活〆等による鮮度向上の取組を行ったほか、アオリイカへのタグ付けなど、ブランド化に向けた取組を行った。

### （魚食イベントの開催による消費拡大）

「おわせ魚まつり」、「早田ブリまつり」等のイベントを開催し、尾鷲で水揚げされる水産物の知名度向上に努めるとともに、学生向けの魚調理体験や、中学校における

魚さばき教室を実施して、若年層への魚食普及に努めた。イベントでは、定置網漁業者による活ブリのPRや、鮮魚販売、セリ体験を新たに設け、地元産水産物の知名度向上を図った。年々増加傾向にある来場者数は平成30年度に「おわせ魚まつり」で5,000人、「早田ブリまつり」で1,000人に達しており、今後も継続していく必要がある。

### ③担い手、魚食普及

尾鷲市漁業体験教室、「早田漁師塾」の実施により後継者の確保・育成に努め、平成27年度から平成30年度までの間に30名（体験教室23名＋漁師塾7名）の体験者を受け入れ、4名の新規就業につながった（対象地区外の市内である梶賀分を合わせると33名の体験受け入れ、8名の新規就業）。今後も後継者の確保・育成に継続して取り組んでいく必要がある。

また、学生や教員を対象とした魚の調理学習や漁業体験を実施し、若年層に漁業に関心を持ってもらう機会を設けることができた。今後も継続して、このような学習や体験する機会を提供していく必要がある。

### ④資源管理、漁場環境保全

浜プランに参画する定置網漁業者等が、自主的に作成している資源管理計画に取り組んだ。今後も取り組みを継続する必要がある。

漁業者等が食害生物（ウニ類）の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組んだ。今後も継続して、このような藻場等の保全や資源の保護、育成に取り組む必要がある。

### ⑤市場関連

尾鷲水産加工組合による衛生管理講習会を開催する等、関係者の意識向上が図られた。今後も老朽化している尾鷲魚市場の将来的な施設整備を念頭に置いて、衛生管理型市場の導入に向けた検討や、市場関係者の意識向上を図るため研修等を実施していく必要がある。

## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

### ①各漁業種類における所得向上のための取組

#### 漁船漁業

定置網漁業者は、旬の魚の活ブリ等による魚価向上の取組を継続し、代船建造や網の改良等による操業の効率化、乗組員の削減等によるコスト削減を推進していく。また、集約市場である尾鷲魚市場への出荷体制の構築に向けて検討する。

地元マグロ延縄船の水揚げ機会の増加等により、需要の高まっている尾鷲産生マグロの更なる安定供給を図るため、漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船の建造を検討し、周年マグロが提供できるような体制の整備に取り組む。

#### 養殖業

マハタの認知度向上、販路拡大、種苗生産技術および養殖技術の向上が課題となっているため、漁協、漁業者、市は、系統団体、流通業者等の関係者と課題を共有し、一丸となって課題解決に取り組む。また、新魚種導入の検討や主力魚種であるマダイの品質向上に努める必要がある。これらは三重県の魚類養殖としての共通課題であり、県の魚類養殖業者が一丸となって取り組む必要があるため、三重県海水養魚協議会が開く研修会等への積極的な参加に努める。

漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の導入の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわせて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。

#### ②流通・販売対策

##### (水産関連施設の機能再編)

漁協合併により、市内の漁協はひとつに集約されているため、漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて検討し、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などの検討を進める。

##### (旬の魚の活〆等による付加価値向上)

漁業者はブリ、アオリイカ等、旬の魚の活〆等による鮮度向上の取組を継続する。漁協は他の漁業者に対し、新たに取り組みが波及するように促す。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。

##### (魚食イベントの開催による消費拡大)

漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。

#### ③担い手対策

漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」の実施を継続し、後継者の確保・育成に努める。

④資源管理、漁場環境保全

浜プランに参画する漁業者は、自主的に作成している資源管理計画に取り組む。  
漁業者等は食害生物（ウニ類）の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等により、藻場等の保全や資源の保護、育成に努める。

⑤ I C T 技術の活用

定置網漁業者は、モニタリングシステム等の I C T 技術の導入に取り組み、コスト削減を推進していく。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

三重県漁業調整規則等の漁業関係法令

三重県資源管理指針

尾鷲湾口海域における定置網漁業の資源管理計画

伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業の資源管理計画

熊野灘海域におけるサンマ棒受網漁業の資源管理計画

三重県熊野灘海域における一本釣漁業の資源管理計画

引本・須賀利地区地先海域における小型定置網漁業の資源管理計画

九鬼地区地先海域における小型定置網漁業の資源管理計画

引本湾・須賀利湾漁場改善計画

尾鷲湾漁場改善計画

九鬼浦漁場改善計画

早田湾漁場改善計画

賀田湾漁場改善計画

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（令和 2 年度）基準年より漁業所得 0.1% 向上

漁業収入向上のための取組	<p>①定置網漁業者は、旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組む。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。</p> <p>②漁協、漁業者は、三重県海水養魚協議会等が開く研修会等へ積極的に参加し、魚病対策や赤潮対策等、養殖技術向上のための知識取得に努める。</p> <p>③漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の導入の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわせて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p>
--------------	---

	<p>④漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船建造や、定置網漁業において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>⑤漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などの課題の整理を検討する。</p> <p>⑥漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>⑦漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①定置網漁業者は、操業の効率化、省人化等によるコスト削減を検討する。</p> <p>②定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、技術活用による効果等の把握に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業（漁業収入①、漁業コスト①②）</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>競争力強化型機器導入緊急対策事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>漁業人材育成総合支援事業（漁業収入⑦）</p> <p>就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター）（漁業収入⑦）</p> <p>新規就業者受入環境整備事業（三重県農林水産支援センター）</p> <p>尾鷲市漁業体験教室（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>水産業強化支援事業（漁業収入⑤）</p>

2年目（令和3年度）基準年より漁業所得0.7%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①定置網漁業者は、旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組む。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。</p> <p>②漁協、漁業者は、三重県海水養魚協議会等が開く研修会等へ積極的に参加し、魚病対策や赤潮対策等、養殖技術向上のための知識取得に努める。</p> <p>③漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の作業の効率化等の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわ</p>
--------------	---

	<p>せて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>④漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船建造や、定置網漁業において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>⑤漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題を整理するとともに、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などの検討を進める。</p> <p>⑥漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>⑦漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①定置網漁業者は、操業の効率化、省人化等によるコスト削減の検討を進める。</p> <p>②定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、技術活用による効果等の把握に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業（漁業収入①、漁業コスト①②）</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>競争力強化型機器導入緊急対策事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>漁業人材育成総合支援事業（漁業収入⑦）</p> <p>就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター）（漁業収入⑦）</p> <p>新規就業者受入環境整備事業（三重県農林水産支援センター）</p> <p>尾鷲市漁業体験教室（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>水産業強化支援事業（漁業収入⑤）</p>

3年目（令和4年度）基準年より漁業所得1.4%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①定置網漁業者は、旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組む。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。</p> <p>②漁協、漁業者は、三重県海水養魚協議会等が開く研修会等へ積極的に参加し、魚病対策や赤潮対策等、養殖技術向上のための知識取得に努める。</p> <p>③漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の作業の</p>
--------------	---



	<p>効率化等の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわせて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>④漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船建造や、定置網漁業において、代船建造や網の改良等について課題を整理する。</p> <p>⑤漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて検討し、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などの課題を整理する。</p> <p>⑥漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>⑦漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①定置網漁業者は、操業の効率化、省人化等によるコスト削減の検討を進める。</p> <p>②定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、技術活用による効果等の把握に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業（漁業収入①、漁業コスト①②）</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>競争力強化型機器導入緊急対策事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>漁業人材育成総合支援事業（漁業収入⑦）</p> <p>就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター）（漁業収入⑦）</p> <p>新規就業者受入環境整備事業（三重県農林水産支援センター）</p> <p>尾鷲市漁業体験教室（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>水産業強化支援事業（漁業収入⑤）</p>

4年目（令和5年度）基準年より漁業所得2.9%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組んでいる定置網漁業者は、効果等の情報提供に努め、漁協、市は県の研究機関と連携し、技術普及を図る。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。</p> <p>②漁協、漁業者は、三重県海水養魚協議会等が開く研修会等へ積極的に参加し、魚病対策や赤潮対策等、養殖技術向上のための知識取得に努める。</p>
--------------	--

	<p>③漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の作業の効率化、規模拡大等の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわせて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>④漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船建造や、定置網漁業において、代船建造や網の改良等について検討する。</p> <p>⑤漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて検討し、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などを検討する。</p> <p>⑥漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>⑦漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①定置網漁業者は、操業の効率化、省人化等によるコスト削減に取り組む。</p> <p>②定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、技術活用による効果等の情報提供に努め、漁協、市は県の研究機関と連携し、技術普及を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業（漁業収入①、漁業コスト①②）</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>競争力強化型機器導入緊急対策事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>漁業人材育成総合支援事業（漁業収入⑦）</p> <p>就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター）（漁業収入⑦）</p> <p>新規就業者受入環境整備事業（三重県農林水産支援センター）</p> <p>尾鷲市漁業体験教室（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>水産業強化支援事業（漁業収入⑤）</p>

5年目（令和6年度）基準年より漁業所得10.8%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組んでいる定置網漁業者は、効果等の情報提供に努め、漁協、市は県の研究機関と連携し、技術普及を図る。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証を行い、取りまとめたデータはWEB上での公開等、情報発信に努める。</p>
--------------	--

	<p>②漁協、漁業者は、三重県海水養魚協議会等が開く研修会等へ積極的に参加し、魚病対策や赤潮対策等、養殖技術向上のための知識取得に努める。</p> <p>③漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の作業の効率化、規模拡大等の検討を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、あわせて、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>④漁協、漁業者は、地区内での新たなマグロ延縄船建造や、定置網漁業において、代船建造や網の改良等について検討を進める。</p> <p>⑤漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて検討を進めるとともに、衛生管理の強化に取り組む。また、あわせて、既存の市場の利便性対策などの検討を進める。</p> <p>⑥漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>⑦漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、操業の効率化、省人化等によるコスト削減を推進する。</p> <p>②定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、技術活用による効果等の情報提供に努め、漁協、市は県の研究機関と連携し、技術普及を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（漁業収入①、漁業コスト①②）</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>競争力強化型機器導入緊急対策事業（漁業収入④、漁業コスト①）</p> <p>漁業人材育成総合支援事業（漁業収入⑦）</p> <p>就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター）（漁業収入⑦）</p> <p>新規就業者受入環境整備事業（三重県農林水産支援センター）</p> <p>尾鷲市漁業体験教室（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）（漁業収入⑦）</p> <p>水産業強化支援事業（漁業収入⑤）</p>

(5) 関係機関との連携

三重県、三重県水産研究所、三重県漁連、尾鷲商工会議所、尾鷲水産加工組合、尾鷲観光物産協会等と連携し、取組を推進する。

#### 4 目標

##### (1) 所得目標

漁業所得の向上 10.8%以上	基準年	
	目標年	

##### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

--

(3) 所得目標以外の成果目標

所得向上を目的とするWE B上で公開する四季の旬の 魚の魚種数	基準年	
	目標年	

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
もうかる漁業創設支援事業	地域の漁業者や流通・加工業者、造船業者等及び地方公共団体が一体となって、収益性を向上するための改革計画を作成し、その改革計画に基づく実証を行う取組を支援
競争力強化型機器導入緊急対策事業	生産性の向上、省力、省コスト化に資する漁業用機器の導入を支援
浜の担い手漁船リース緊急事業	所得向上に取り組むために必要な中古漁船又は新造漁船の導入に要する経費を助成
水産業成長産業化沿岸地域創出事業	漁業者自らが行う収益性の向上と適切な資源管理又は漁場改善を両立させる取組に対する支援
漁業人材育成総合支援事業	漁業現場での実施による長期研修、漁業活動に必要な技術取得等の支援
就業促進研修事業 (三重県農林水産支援センター)	漁業現場での短期研修、長期研修にかかる研修経費等の支援
新規就業者受入環境整備事業 (三重県農林水産支援センター)	長期研修期間中の家賃等の支援
尾鷲市漁業体験教室	3泊4日の漁業体験の宿泊費等の支援
漁業後継者確保支援整備事業 (尾鷲市)	長期研修にかかる研修経費等の支援

漁師育成機関運営支援事業 (尾鷲市)	早田漁師塾の実施にかかる経費の支援
水産業強化支援事業	浜の活力再生プランに位置付けられた共同利用施設の整備等を支援